



花となれ 光となれ

いき ついし やくしん
為己 遂志 躍清

令和7年7月15日

第7号

一関市立藤沢中学校

各校の特色をつかむ～高校説明会～

7月3日（木）、3年生の生徒と保護者を対象に、高校説明会を開催しました。一関近郊の10校（県立6、宮城県立1、国立高専1、私立2）から講師の先生をお招きして、各校の魅力や特色を紹介して頂きました。



県立高校では現在それぞれの学校で「スクールポリシー」を策定し、さまざまな工夫をして「特色・魅力ある学校づくり」を進めています。つまり、同じ学科（例えば普通科）を設置している学校であっても、それぞれ高校ごとに特色を強め、学べる内容にも違いが出てくるのです。それだけに受験生は、自分が行こうとする高校はどんな学校なのか、今まで以上によく調べる必要があります。

入試制度についても、今年度より導入された「特色入試」が来年度入試（つまり、今の3年生が受ける入試）からすべての県立高校で実施されることとなりました。この変更も県立高校の「特色・魅力ある学校づくり」の一環となるものです。

夏休み中には私立もふくめ高校のオープンスクールが数多く企画されています。3年生の皆さんには積極的に参加して、悔いのない選択となるよう、自分に合った学校をぜひ見つけてほしいと思います。

努力の結晶！輝きのステージ～吹奏楽コンクール地区大会～

6月28日（土）、一関文化センターにて、岩手県吹奏楽コンクール県南地区予選が開催されました。本校の吹奏楽部は今年度より室根中・東山中・IESB（室根小）と合同で活動しており、初めてのコンクール出場です。合同で練習を始めて実質2ヶ月余りの期間、全体で合奏できるのは週末のみという困難な条件の中、送迎や楽器運搬など、保護者の皆様の協力に支えられながら、生徒たちはこの日のために一生懸命努力を重ねてきました。



当日はミュージカル「レ・ミゼラブル」の曲を、保護者の皆さんや他校の吹奏楽部員など、多くの観客に見守られながら演奏しました。結果は「銀賞」！見事に県大会出場を決めました。県大会は8月2日（土）、奥州市文化会館（Zホール）で開催されます。さらに磨きをかけた、素晴らしい演奏を期待しています。

お世話になっています～植木の剪定～

6月13日、27日、藤沢の庭木剪定愛好会の皆さんに、玄関付近の植木の剪定作業をおこなって頂きました。



夏の日差しを浴びて伸び放題だった枝も、おかげさまできれいになりました。改めまして、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご支援をよろしくお願ひいたします。

激走！ハイレベルの挑戦！～通信陸上県大会～

7月5、6日の2日間、北上総合運動公園で県通信陸上大会が開催され、本校からは一関地方予選会を通過した5人の選手が出場しました。県内各地の予選会を勝ち抜いてきた選手との、レベルの高い競い合いの中で、全員が一生懸命のパフォーマンスを見せてくれました。中でも1年生の三浦恵蓮さんは予選を通過、決勝に進出した他、全員が自己ベスト（リレーはチームベスト）を更新しました。

今後は改めて特設駅伝部として、9月8日に行われる一関地区駅伝大会に向けて、再び本来所属する部活動や受験勉強との両立を図りながらの練習を行っていきます。引き続き応援をよろしくお願いします。

大会結果(敬称略)

種目	選手名	結果
1年女子 1500m	三浦恵蓮	5分33秒92 決勝進出 自己新
共通女子 100mH	千葉 梓	18秒90 自己新
共通男子 400m	大住勝太郎	57秒88 自己新
低学年女子 4×100mR	山内希夏 三浦愛鈴 三浦恵蓮 千葉 梓	58秒93 チームベスト！



伝統の装いを学ぶ～2年生着付け教室～

7月8日、2学年家庭科学習の一環で、浴衣の着付け教室を行いました。講師としてご協力頂いたのは昨年度に引き続き、小林豊子きもの学院の先生方です。

生徒たちは準備して頂いた浴衣の中から好きな色・柄を選び、着付けのご指導をいただきながら実際に着てみました。苦労している生徒もいましたが、最後には無事、全員が着ることができました。またその後、浴衣を着たときの作法（礼など）を学び、記念写真を撮りました。

教室の教授である千田先生より頂戴した名刺の裏に書いてあったことばが素敵だったので紹介します。

- 1 私は憂います きものを忘れることにより日本の心が失われることを
- 1 私は信じます きものを愛しむ心が優しい心を育むことを
- 1 私は努めます 美しく装うための技と心を磨くことを
- 1 私は希います 美しいきもの姿が日本中に満ち溢れることを
- 1 私は誓います 民族衣装を通して世界平和の一助とならんことを



特に5つ目の項目について、自国の文化を大切にすることが他国の文化を尊重することにもつながり、さらには世界平和につながっていくということが示されています。着物に限らず、改めて伝統文化の尊重・継承は大事なことだと感じました。

今回のように、学校の教育活動において、地域住民の皆様のお力添えを頂くのは生徒たちのみならず教職員にとっても大変貴重な学びの機会です。今後とも地域・保護者の皆様のご理解とご協力を願っています。